



# 決算説明会

## 2007年3月期

2007年5月8日

ミネベア株式会社

1. 業績の説明

2. 方針と戦略

# 業績の説明

取締役 常務執行役員 加藤木 洋治

2007年5月8日

# 連結業績

(百万円)	2006年3月期	2007年3月期	前年比 伸び率	2007年3月期計画 (2006年10月修正)	
	通期	通期		通期	達成率
売上高	318,446	331,022	+3.9%	324,000	102.2%
営業利益	19,269	26,265	+36.3%	28,000	93.8%
機械加工品	24,556	26,195	+6.7%	27,000	97.0%
電子機器	△5,287	69	黒転	1,000	6.9%
経常利益	14,595	21,843	+49.7%	22,000	99.3%
税引前利益	9,620	19,523	2.029倍	21,000	93.0%
純利益	4,257	12,862	3.021倍	13,500	95.3%
一株当たり(当期)純利益	10.67	32.23	3.021倍	33.83	95.3%

9年ぶりに過去最高売上高を更新  
 営業利益は、前年比36%増  
 機械加工品が好調、電子機器も大幅改善

為替レートの変動 06/3期 → 07/3期  
 US\$ 113.09 円 → 116.91 円  
 タイバーツ 2.79 円 → 3.18 円

# 四半期業績

タイヤーツ高、一部事業の悪化による業績改善の鈍化

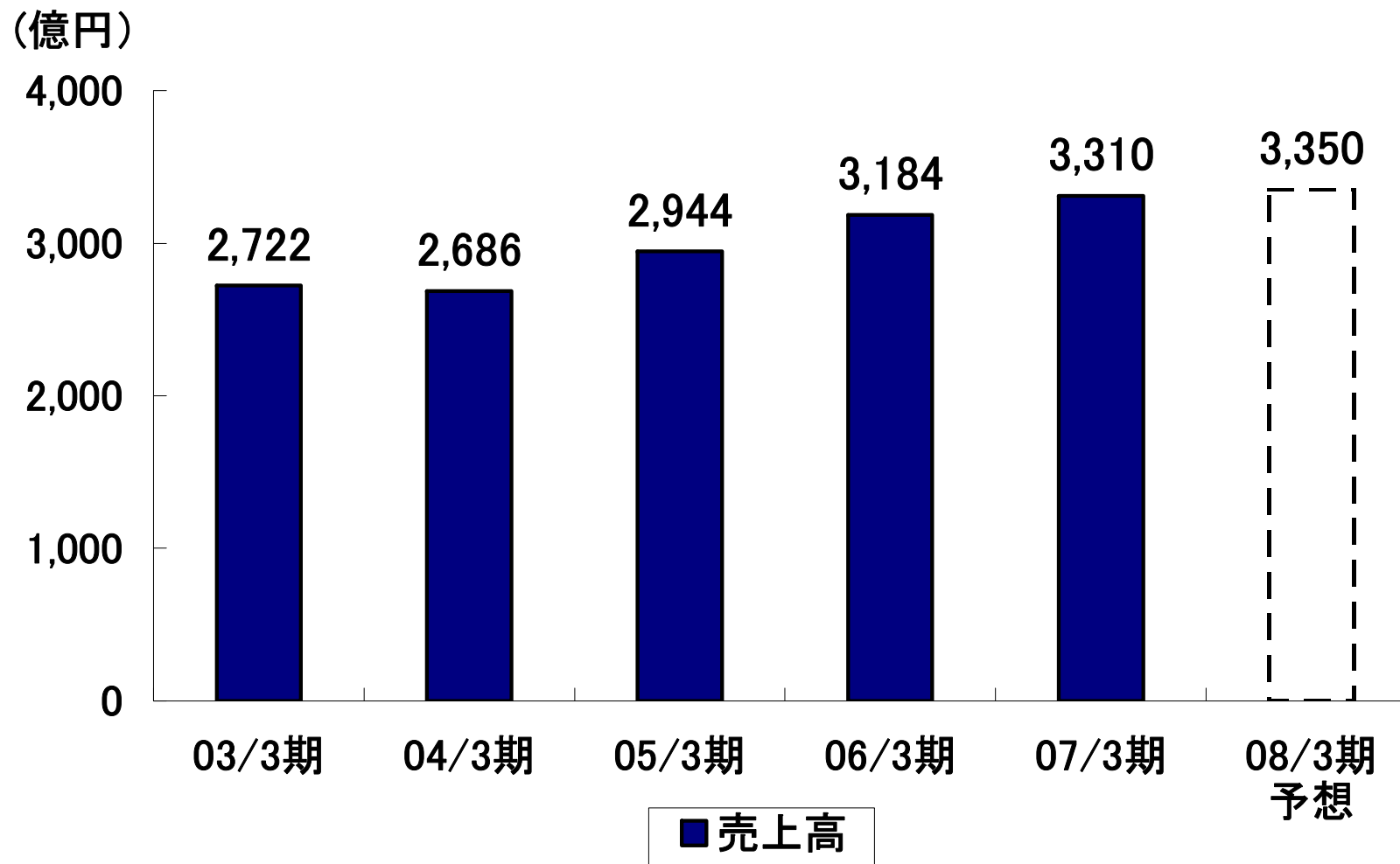
(百万円)	2006年3月期		2007年3月期		前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	4Q	3Q	3Q	4Q		
売上高	81,759	83,332		83,692	+2.4%	+0.4%
営業利益	6,002	6,609		6,289	+4.8%	-4.8%
機械加工品	6,472	6,769		6,109	-5.6%	-9.8%
電子機器	△470	△159		178	黒転	黒転
経常利益	4,579	5,495		5,401	+18.0%	-1.7%
税引前利益	721	5,075		3,334	4.624倍	-34.3%
純利益	△564	4,209		1,185	黒転	-71.8%

為替レートの変動 3Q → 4Q  
 (US\$117.36円 → 119.76円、 タイヤーツ3.18円 → 3.49円)

年推移

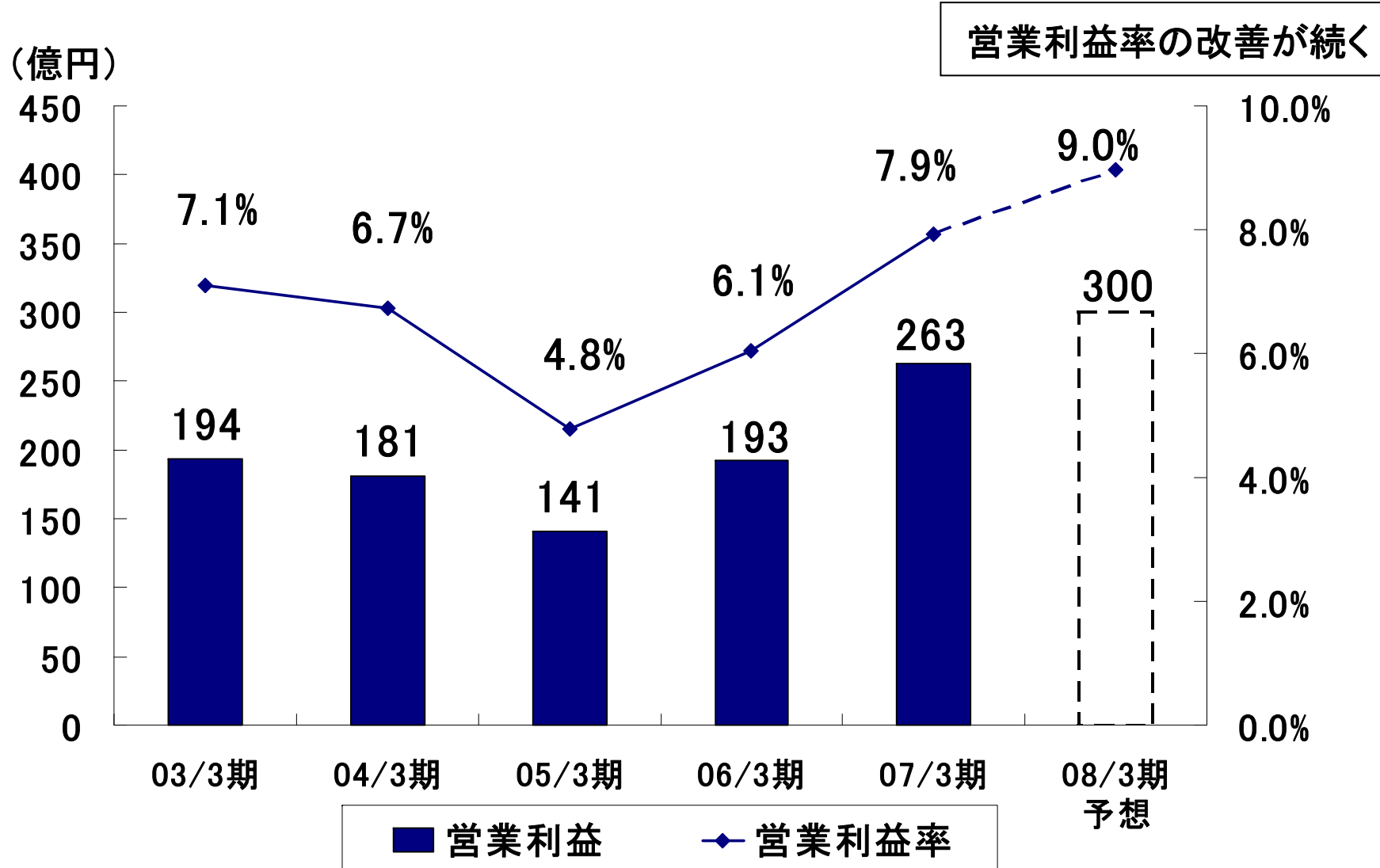
# 売上高

3/07期は9年ぶりに過去最高売上高を更新

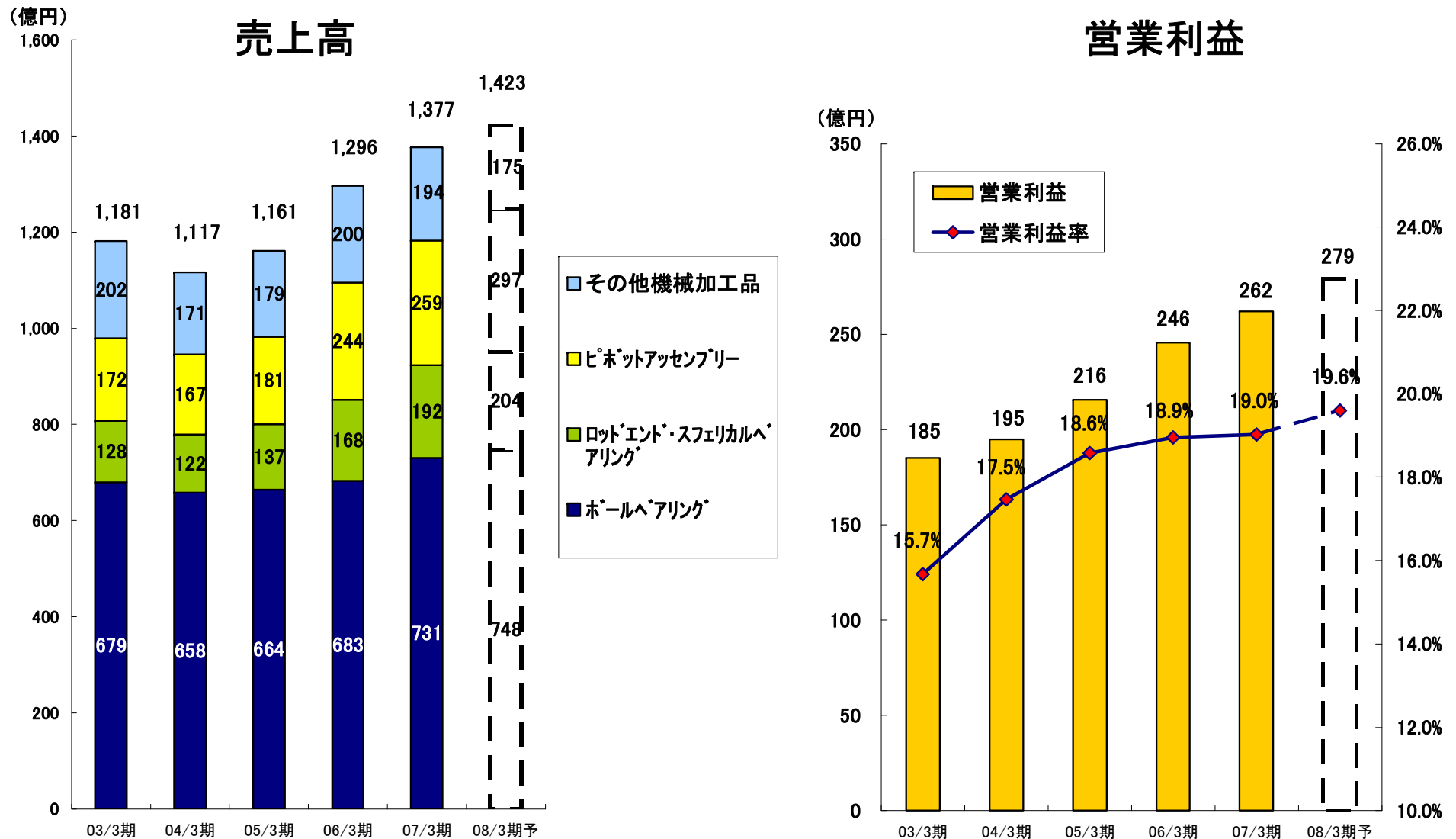


年推移

# 営業利益



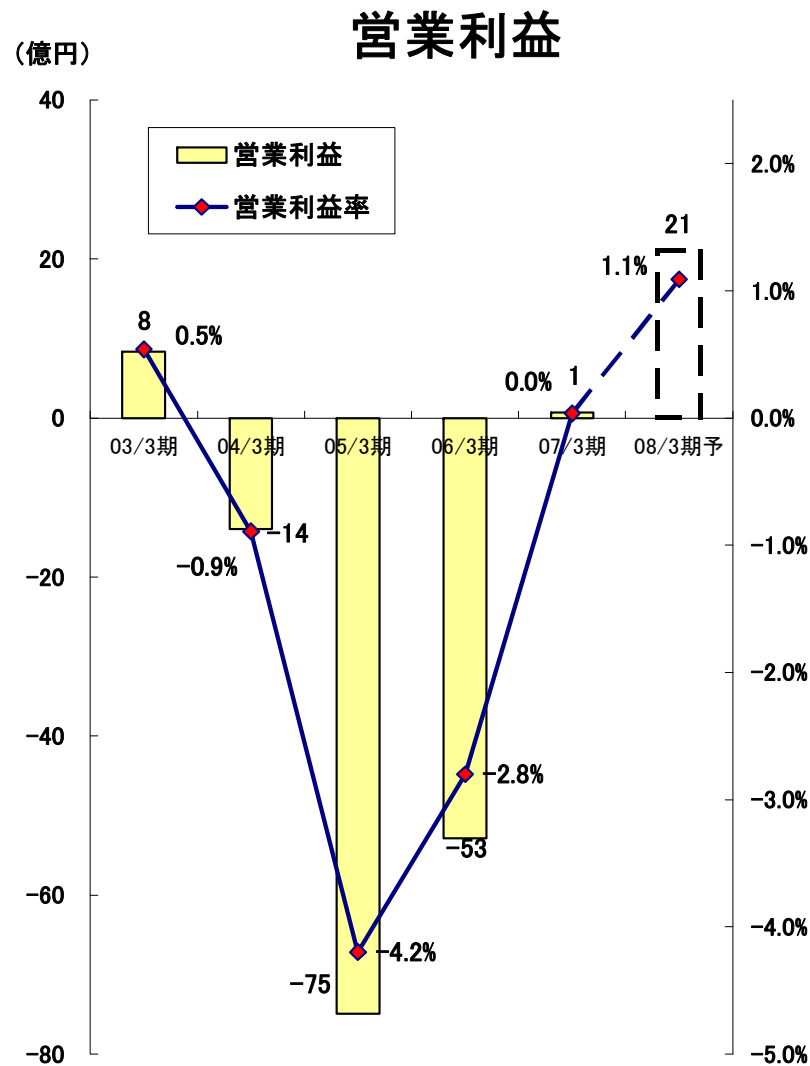
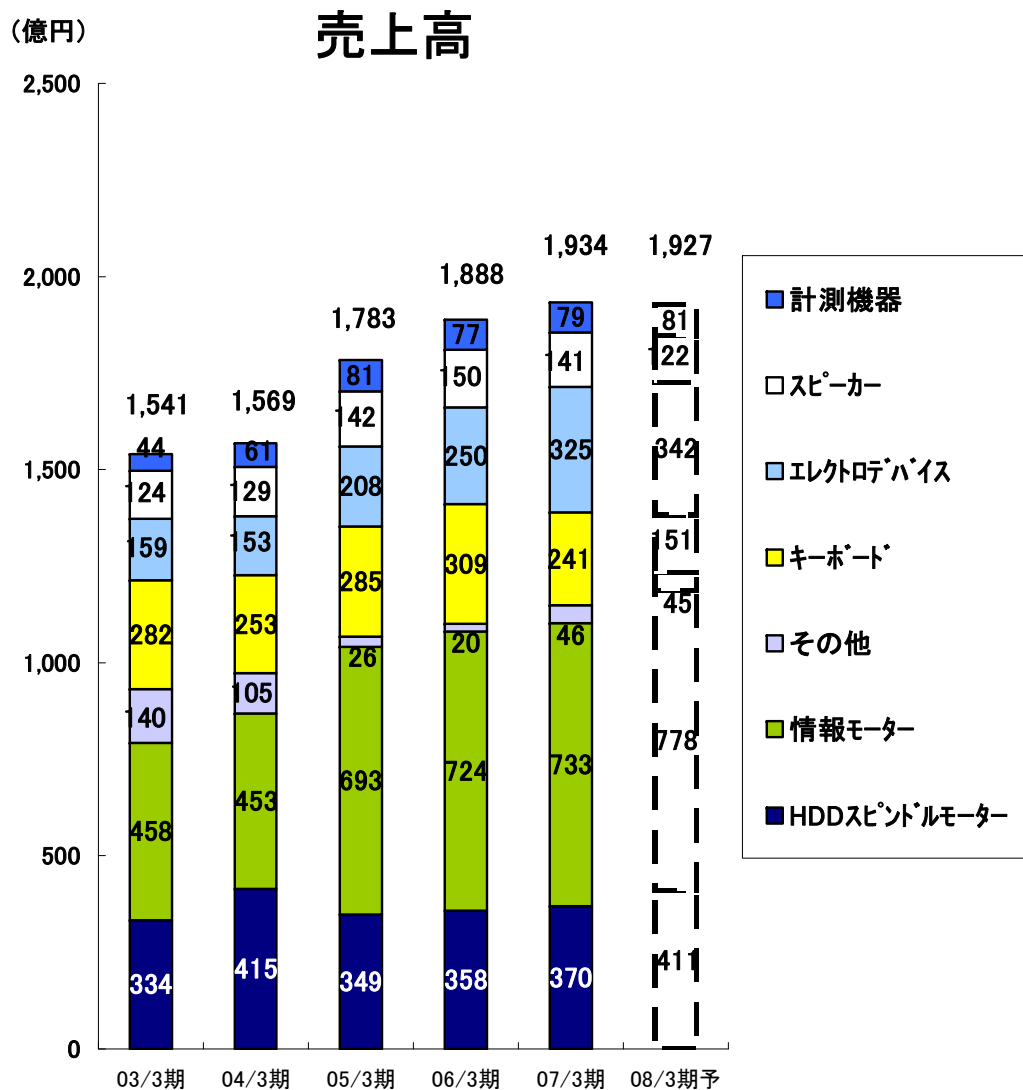
# セグメント別 機械加工品事業 売上高・営業利益





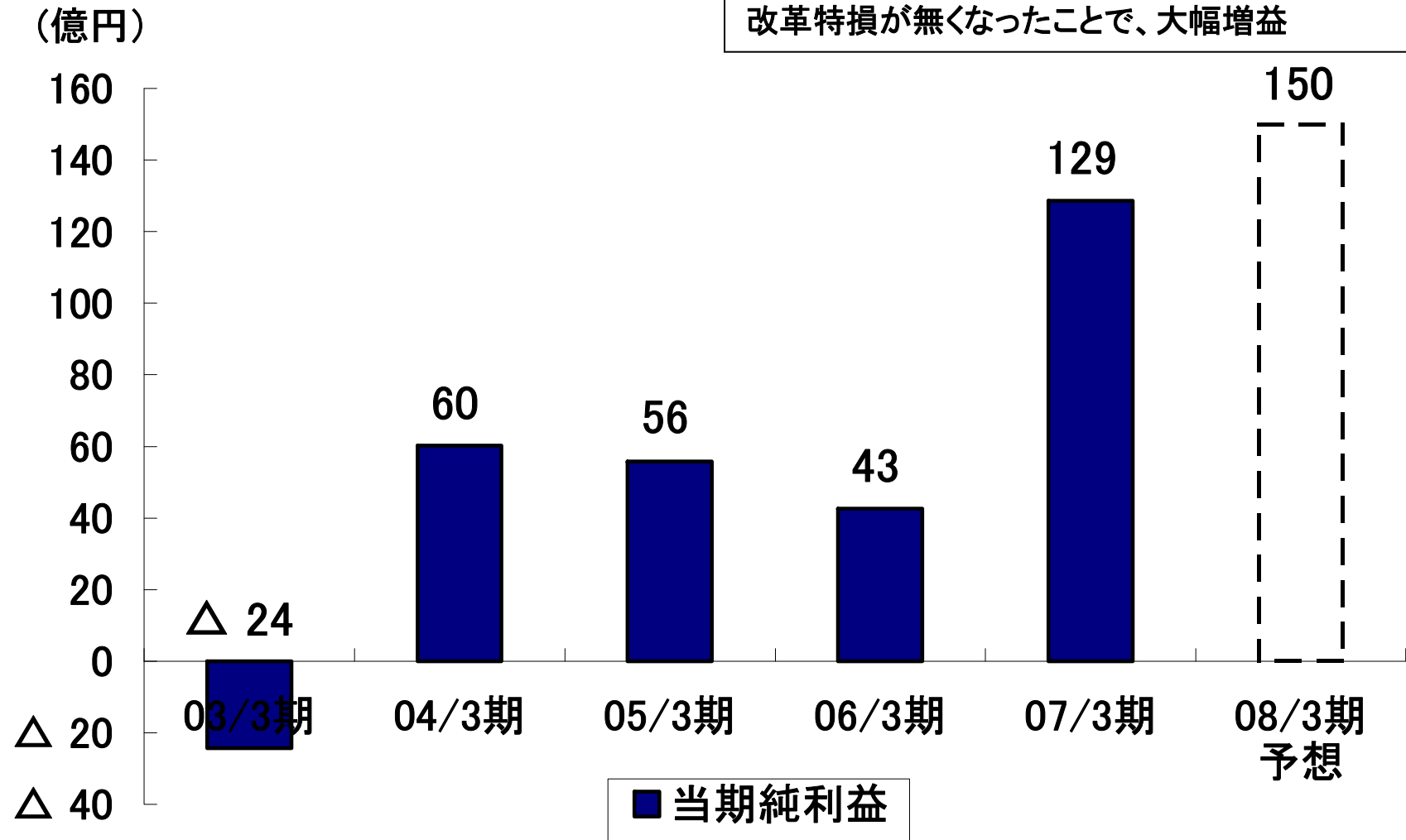
# セグメント別

# 電子機器事業 売上高・営業利益



年推移

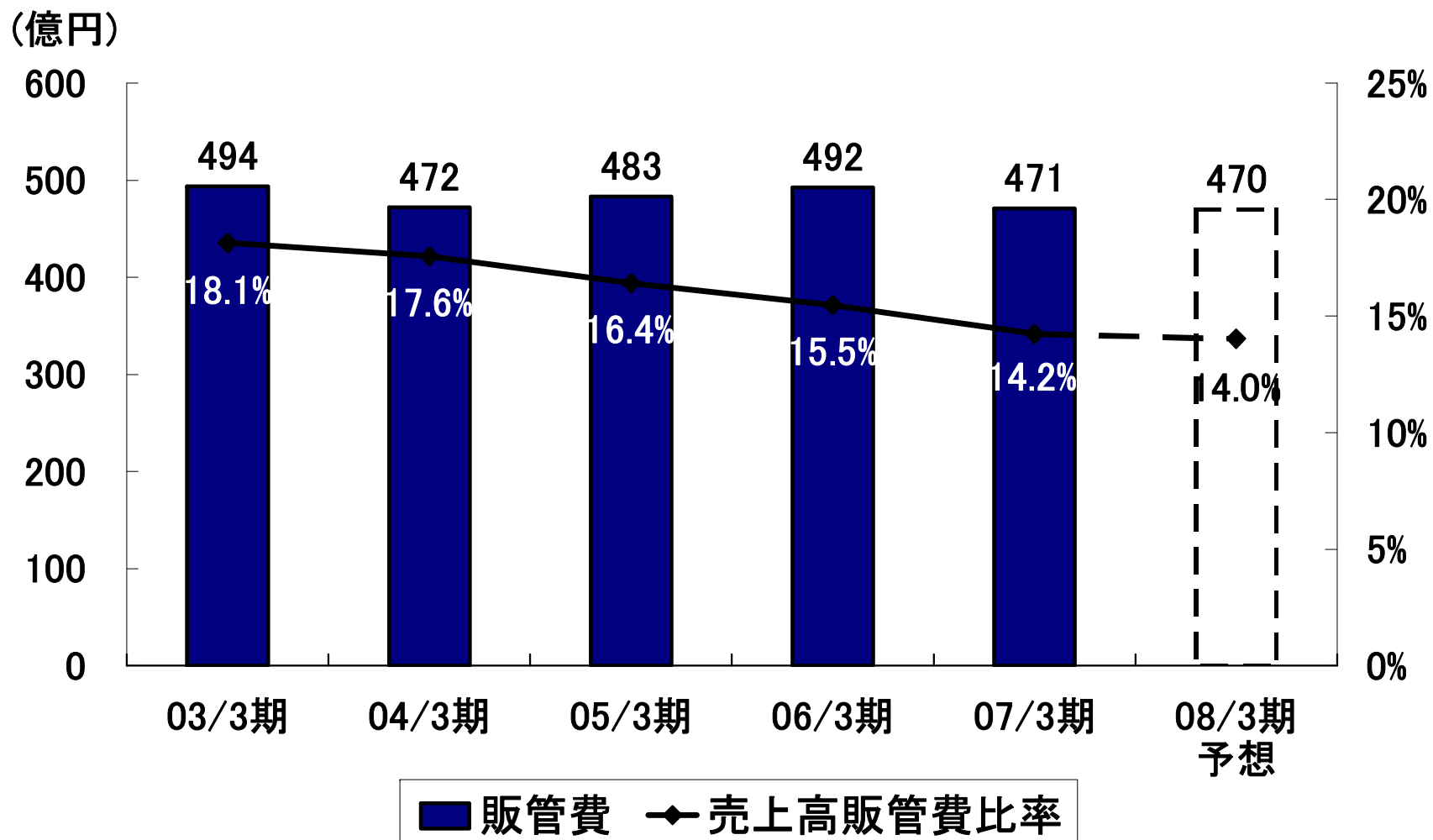
# 当期純利益



年推移

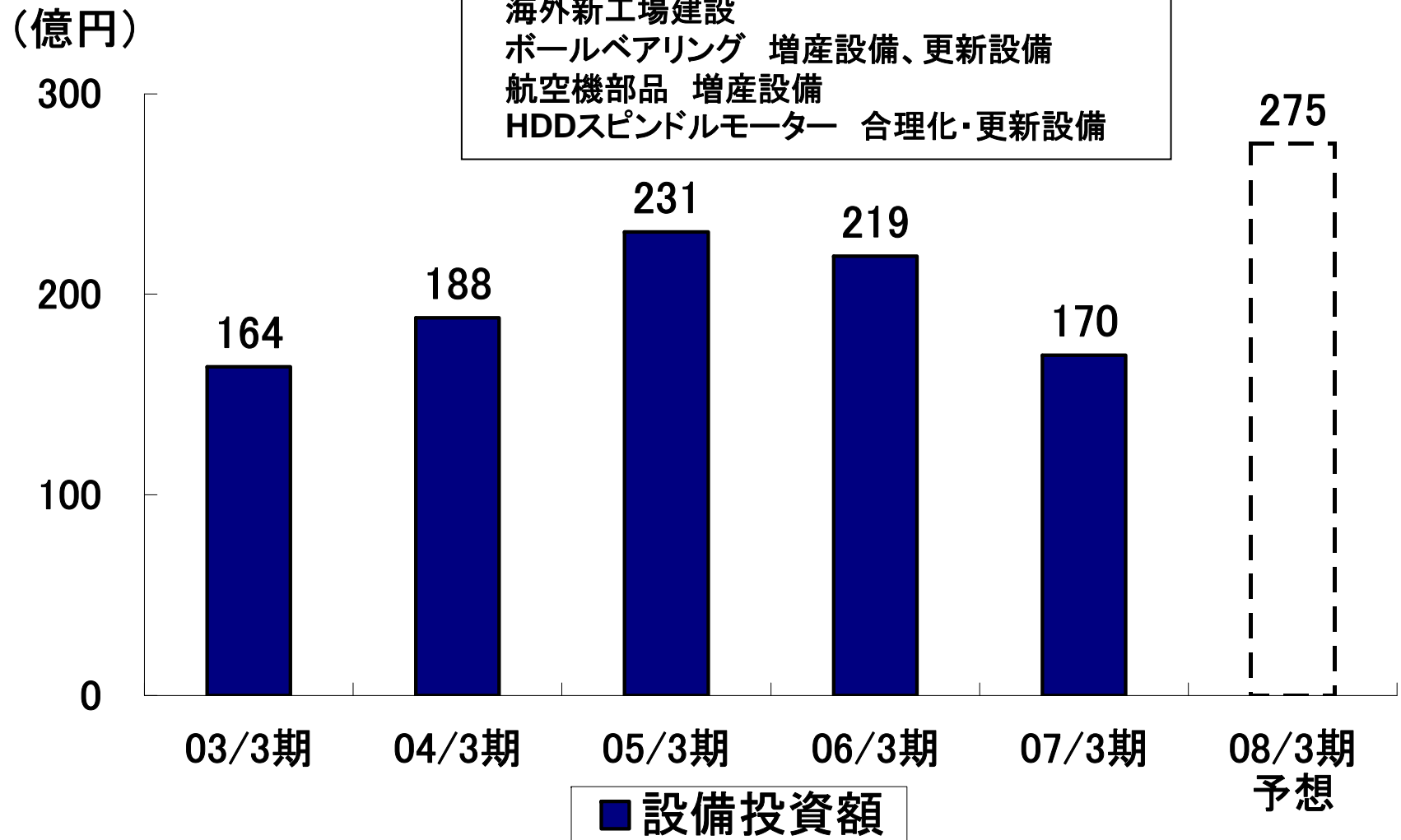
# 販管費

3/07期も引き続き、販管費率を低下させた



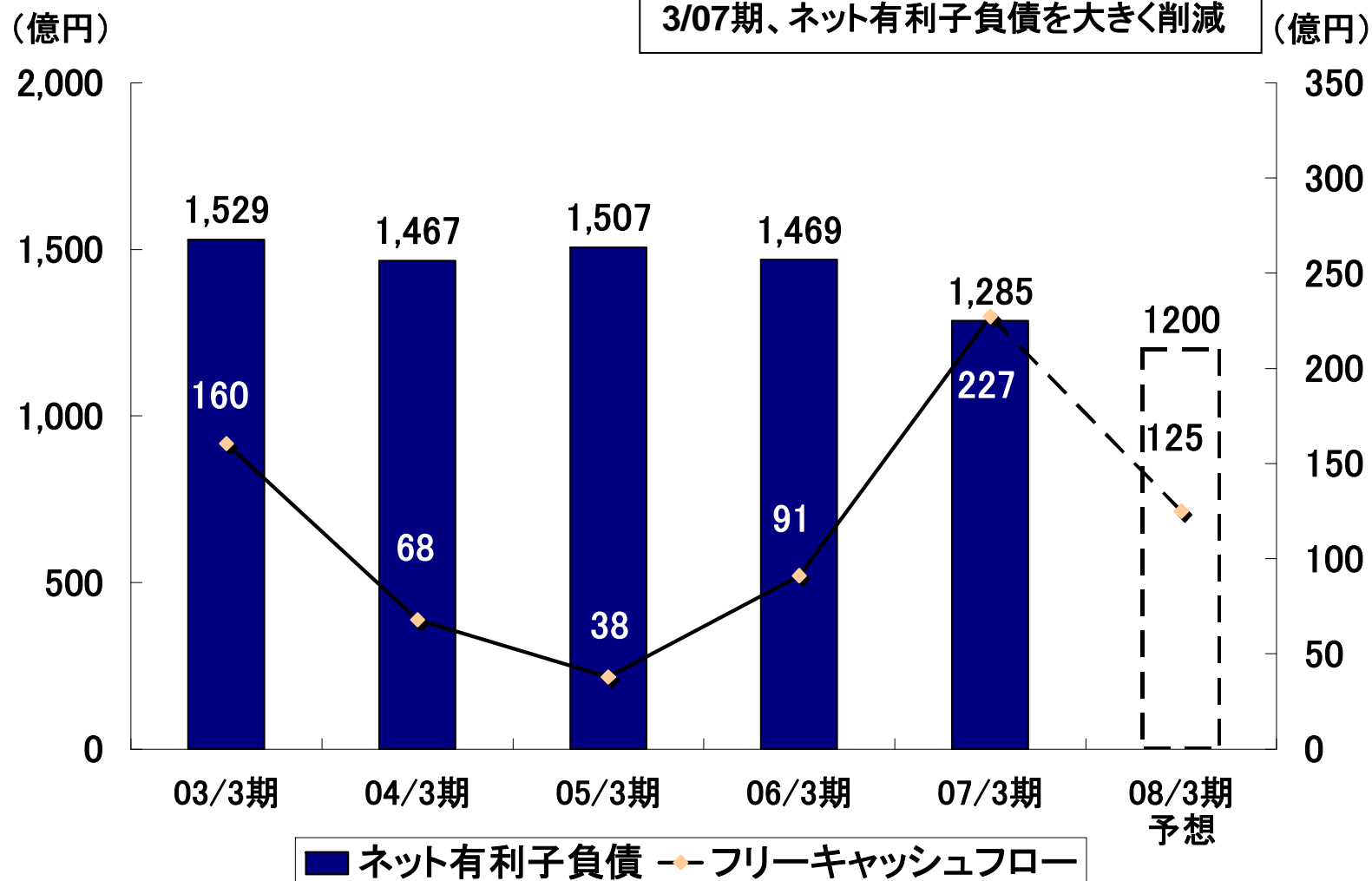
年推移

# 設備投資額



年推移

# ネット有利子負債



ネット有利子負債 : 有利子負債合計 - 現預金  
フリーキャッシュフロー : 営業活動CF + 投資活動CF

# 連結業績予想

(百万円)	2007年3月期	2008年3月期予想			前年比
	通期	上期	下期	通期	伸び率
売上高	331,022	162,500	172,500	335,000	+1.2%
営業利益	26,265	14,000	16,000	30,000	+14.2%
機械加工品	26,195	13,800	14,100	27,900	+6.5%
電子機器	69	200	1,900	2,100	30.435倍
経常利益	21,843	11,500	13,500	25,000	+14.5%
税引前利益	19,523	10,500	13,000	23,500	+20.4%
純利益	12,862	6,500	8,500	15,000	+16.6%
一株当たり(当期)純利益	32.23	16.29	21.30	37.59	+16.6%

為替レート 07/3期実績 → 08/3期  
 (US\$116.91円 → 117.00円、 タイバーツ3.18円 → 3.25円)

# 方針と戦略

代表取締役 社長執行役員 山岸 孝行

# 2007年3月期 決算ハイライト

## ◆課題事業

- 情報モーター >>> (事業構造見直し) >> 通期黒字達成
- キーボード >>> (構造改革の成果) >> 3月、月次で黒字化達成
- HDDスピンドルモーター >> (原価低減実行) >> 赤字解消未達(パーツ高)

## ◆成長事業の拡大

- 9年ぶりに過去最高売上高の更新
- ボールベアリング・航空機部品・計測機器・ライティングデバイスが牽引

## ◆技術開発の強化

- 新製品開発 >>> 新市場開拓 >>> 事業拡大
- 基礎技術開発の充実

## ◆ネット有利子負債の削減

- 184億円の削減を達成(13%削減)



# 将来に向けて

## 中期事業計画の策定

単位 億円

	62期 (2008.3期)	63期 (2009.3期)	64期 (2010.3期)
売上高	3,350	3,500	3,700
営業利益	300	340	380
税前利益	235	260	300

売上5,000億円企業  
を目指して

持続的成長



# イノベーション

## ◆新製品の導入

ベアリング・モーター ➤ 小型製品の開発  
DCブラシモーター ➤ 新製品で新たなる市場へ  
ライティングデバイス ➤ ノートPC用バックライト

## ◆新市場の開拓

計測機器 ➤ 医療機器・健康器具  
モーションコントロール ➤ 車載用レゾルバ等  
ファン・ブロアー ➤ 通信機器用冷却システム

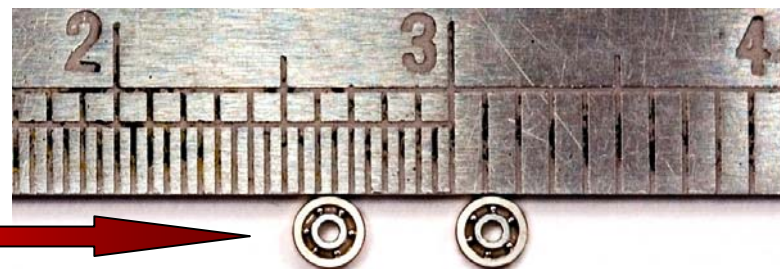
## ◆生産技術の革新

航空機部品 ➤ より高度な加工技術  
➤ より高度な潤滑技術  
ボールベアリング ➤ 次世代型工場  
➤ 新たな加工技術の開発

# ボールベアリング

## ◆市場での成長力

- ◆ミニチュアサイズの需要増加傾向は継続
- ◆新製品で新たな市場展開

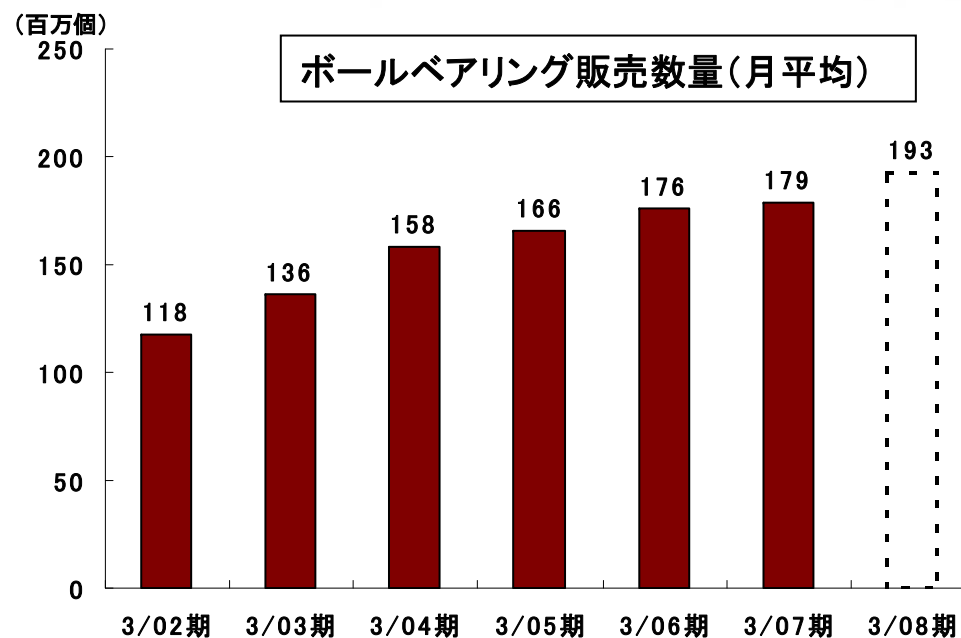


## ◆供給力とコスト競争力

- ◆月産 2億個生産体制

## ◆生産技術の革新

- ◆次世代型新工場の建設
- ◆ミニチュアサイズ専用加工機開発



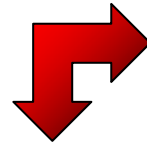
# 航空機用部品

## ◆市場の成長

- ◆中小型機 航空旅客・途上国需要での成長
- ◆大中型機 航空貨物需要は旅客以上の伸び

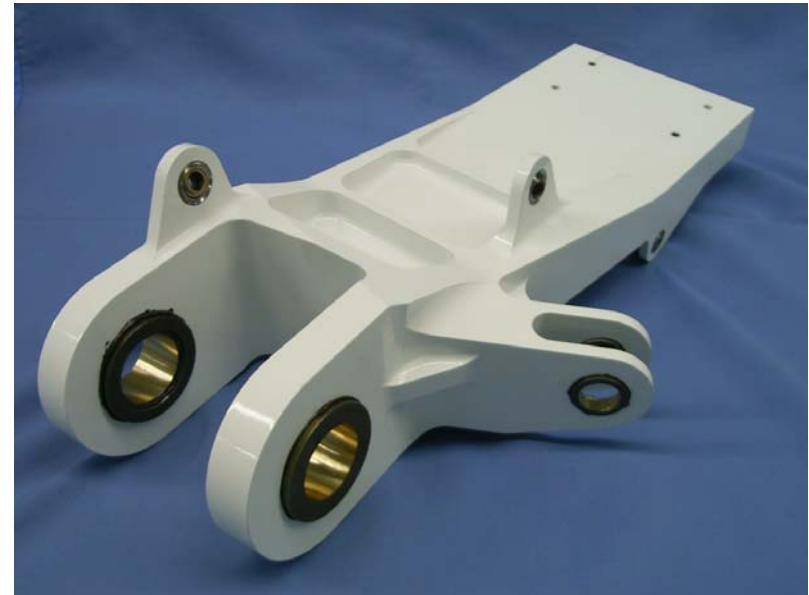
## ◆ミネベアの航空機部品事業

- ◆エンジン周辺部品への技術対応力の強化
- ◆生産技術力 より高度な加工技術で製品範囲を拡大



### ◆生産能力

タイ工場の拡大により  
全体の生産能力アップ



# モーター事業

## ◆事業の再構築

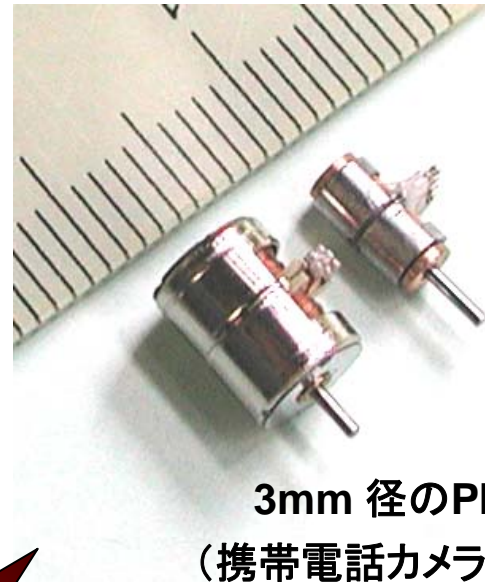
- ◆初期段階完了 次のステップへ
- ◆情報モーターは拡大期へ

## ◆ファンモーター

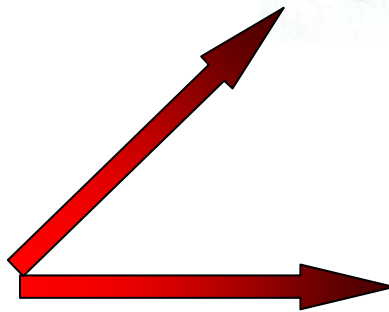
- ◆事業拡大の核
- ◆上海工場の整備完了 増産体制

## ◆新製品開発

- ◆モーター開発陣の強化
- ◆来期へ向けての成果期待



3mm 径のPMモーター開発に成功  
(携帯電話カメラのオートフォーカス用)



高トルク  
DCブラシモーター



# ライティングデバイス

## ◆小型バックライト(1~3インチ)

- ◆超薄型次世代バックライト → 今期後半でのビジネス
- ◆ローコスト版バックライト → 今期市場投入

## ◆中型バックライト(6~19インチ)

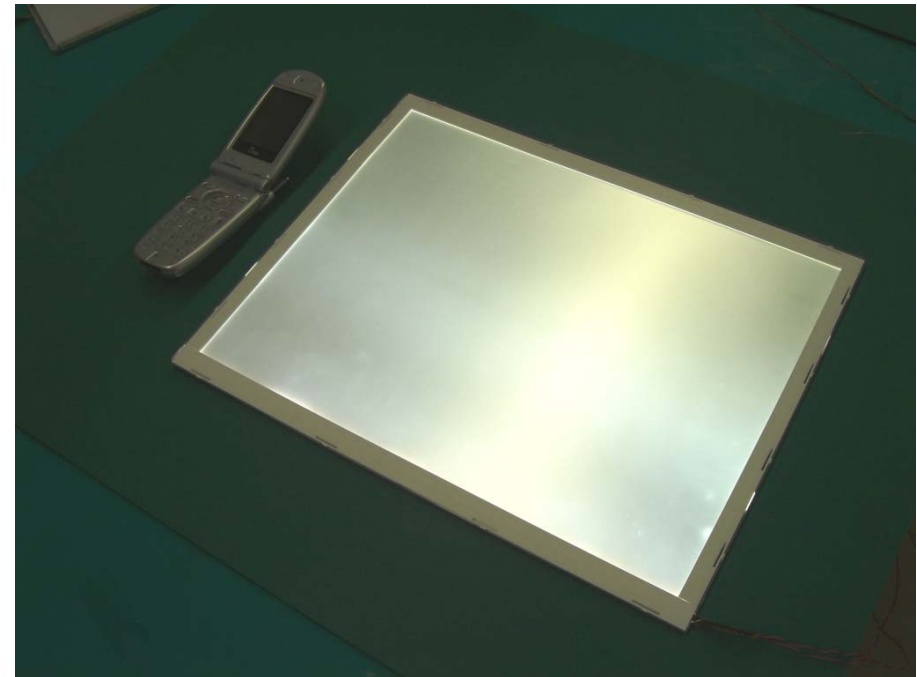
### ◆カーナビゲーション用

ビジネス展開は始まった  
→今期から売上に寄与

### ◆PC用新製品

開発完了し客先にサンプル提出  
→新しいビジネスの創出

15インチノートPC用バックライト



# 新市場の開拓

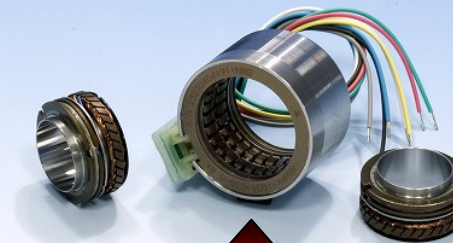
## ◆既存製品で新しいアプリケーションへ

◆いくつかの製品で具体的ビジネス展開が始まっている

### 医療機器・健康器具市場へ



### ステアリングのトルクセンサー



◆レゾルバー

### 車載用部品市場へ

# 財務戦略：増配と有利子負債削減

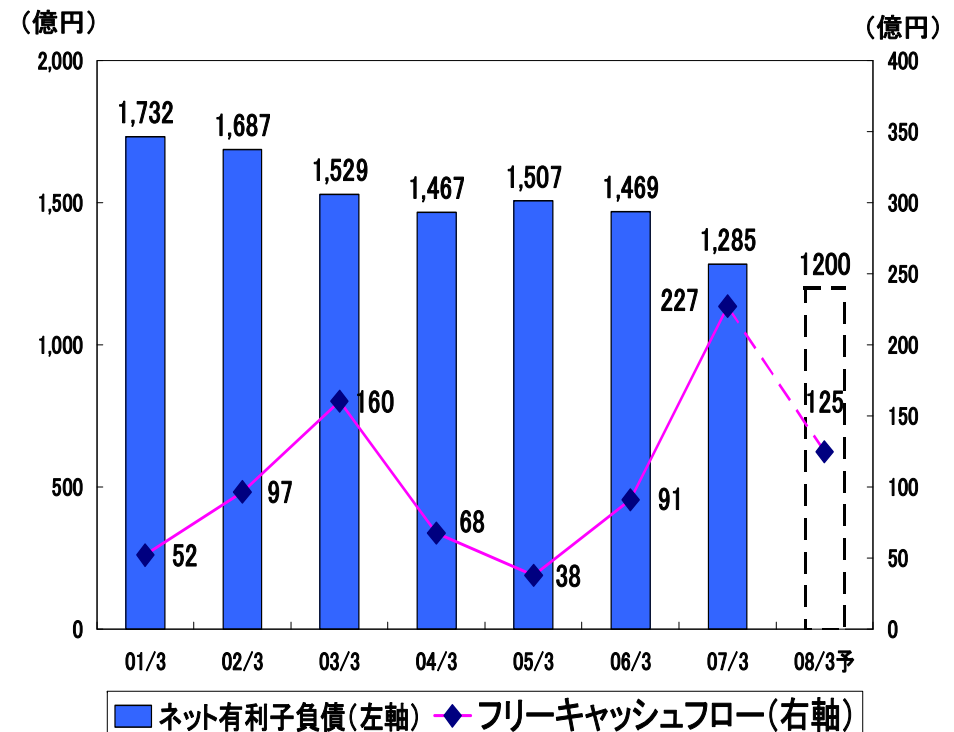
## ◆ 配当

- ・3/07期は3円増配 ⇒ 期末配当10円で、年10円配当へ
- ・3/08期も、年10円配当(予想)
- ・配当の基本方針：経営環境を総合的に勘案し、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益配分を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元を図る

## ◆ ネット有利子負債削減

- ・中期目標である1,000億円水準への引下げを目指し、3/08期は、85億円の削減を計画

ネット有利子負債の中期目標＝  
1000億円を目指して削減を継続



ネット有利子負債：有利子負債合計－現預金  
フリーキャッシュフロー：営業活動CF＋投資活動CF



# ミネベア株式会社

## 決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。